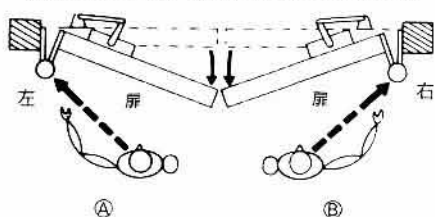


説明書は、右開き勝手扉について図示してありますので、左開き勝手扉の場合は、本図と左右対称の位置となるように取付けて下さい。

### 1 左右勝手の確認

必ず吊元（丁番軸）の見える側又は、扉を引いて開ける側に立った時に吊元が



左に見えるものを 右に見えるものを  
左開き勝手扉 右開き勝手扉

- 本体及び付属部品には、左右の勝手がありませんが、扉の開き勝手によって、取付ける向き、取付ネジの位置が異なります。
- 左図の開き勝手区分Ⓐ又はⒷによって、正しい向きに取付けて下さい。

### 2 本体ブラケットの取付

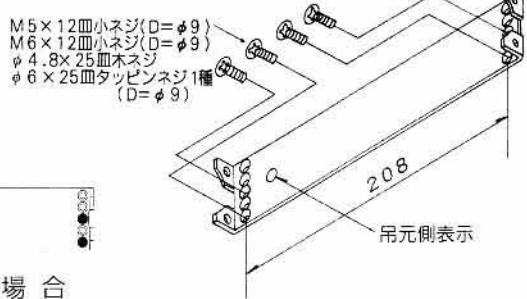
- 新規の扉にも使用出来ます。その際は、添付の型紙にて、位置を決め、1)の日本ドアチェック用取付穴を御使用下さい。

本体ブラケットの○印を吊元側に向けて扉面に取付ネジ（4本）にて取付けて下さい。

**注** 取付ネジは、強く締付けて下さい。緩いと本体がぐらつき正常な機能を果たさなくなります。

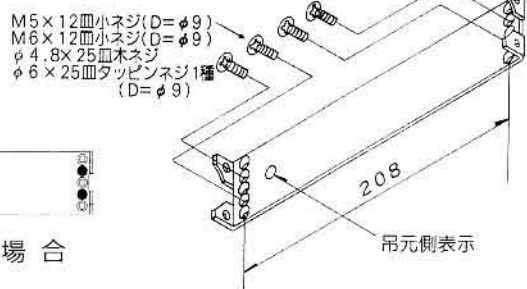
- 日本ドアチェック製の80シリーズから交換する場合はHBP-93型ブラケットの下側の4つの取付穴（水平方向のピッチ208mm）を使って下さい。

- 新規の扉にも取付けられます。



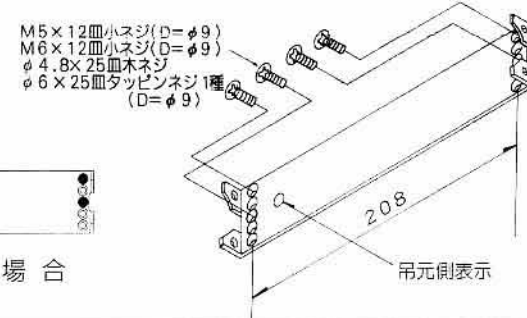
吊元側表示 吊元側表示  
左勝手の場合 右勝手の場合

- リョービ製の60シリーズから交換する場合はHBP-93型ブラケットの上側の4つの取付穴（水平方向のピッチ208mm）を使って下さい。



吊元側表示 吊元側表示  
左勝手の場合 右勝手の場合

- ニッカナ製の50シリーズから交換する場合は、HBP-93型ブラケットの上側の4つの取付穴（水平方向のピッチ208mm）を使って下さい。



吊元側表示 吊元側表示  
左勝手の場合 右勝手の場合

### 3 アームブラケットの取付

- 新規の枠にも使用出来ます。その際は、添付の型紙にて、位置を決め、1)の日本ドアチェック用取付穴を御使用下さい。

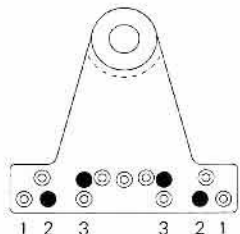
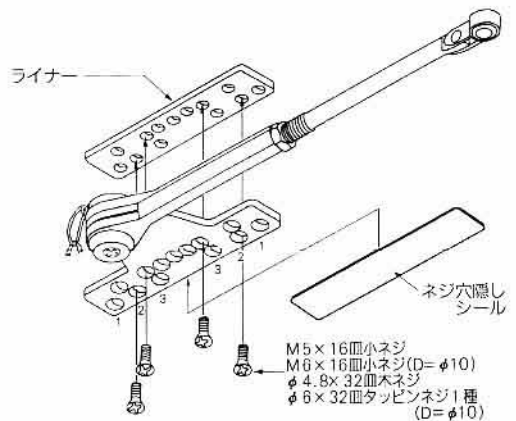
上枠との間にライナーを挿入しアームブラケットを上枠に取付ネジにて取付けて下さい。

**注** 取付ネジは、強く締付けて下さい。緩いとアームがぐらつき正常な機能を果たさなくなります。

- 日本ドアチェック製の80シリーズから交換する場合はアームブラケットの2番の取付穴を使って、取付ネジ4本で取付けて下さい。

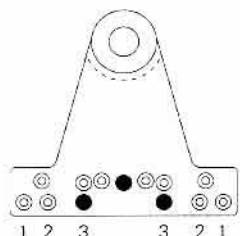
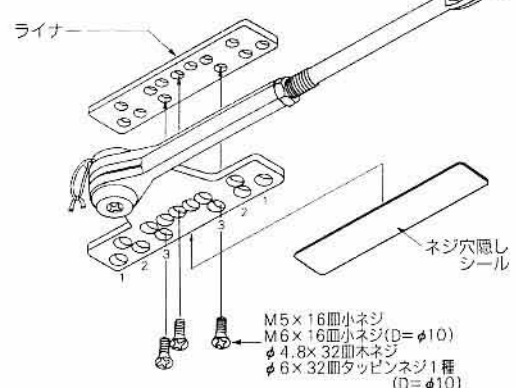
※最後にネジ穴隠しシールをアームブラケットの上へ貼付して下さい。

- 新規の枠にも取付けられます。



- リョービ製の60シリーズから交換する場合はアームブラケットの3番の取付穴を使って、取付ネジ3本で取付けて下さい。

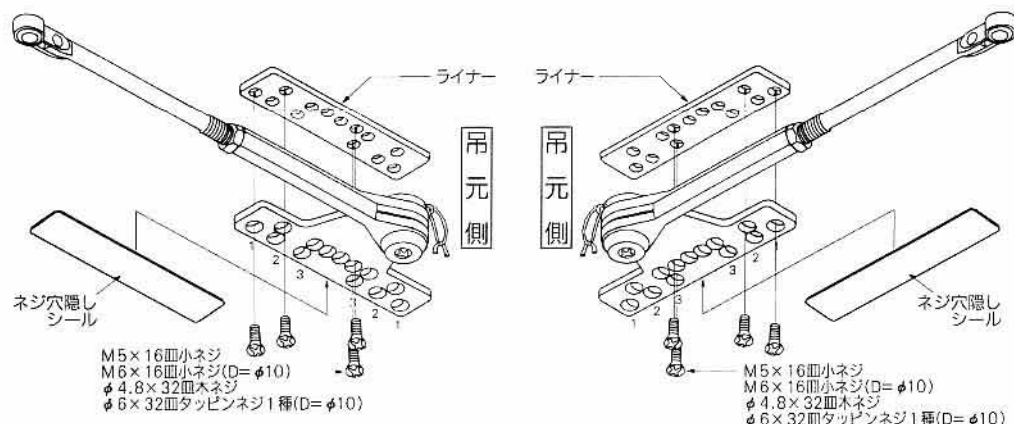
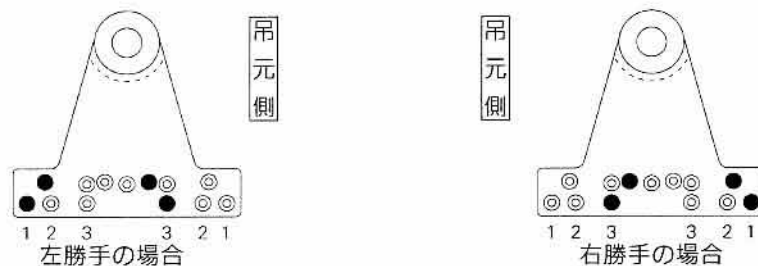
※最後にネジ穴隠しシールをアームブラケットの上へ貼付して下さい。



- ニッカナ製の50シリーズから交換する場合は、左右勝手により使用するアームブラケットの取付穴が異なります。

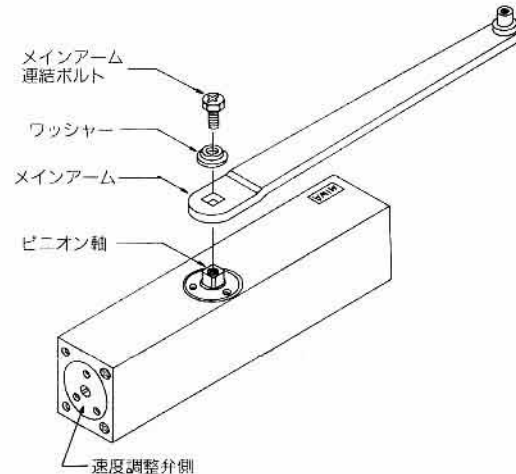
吊元側の3番の取付穴と戸先側の1番の取付穴を使って、取付ネジ4本で取付けて下さい。

※最後にネジ穴隠しシールをアームブラケットの上へ貼付して下さい。



### 4 メインアームの取付

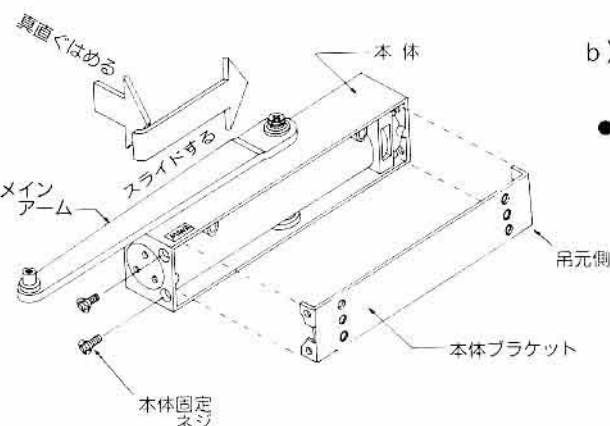
- 本体の向きは速度調整弁を吊元側に向けて下さい。
- メインアームは必ず吊元の反対側に伸びる様に取付けて下さい。
- メインアームをピニオン軸にワッシャー及びメインアーム連結ボルトにてしっかり締付けて下さい。



**注** メインアームがピニオン軸に入りにくいときは、ピニオン軸にメインアームの角穴をあてがい、連結ボルトにてねじ込んで下さい。ハンマー等でメインアームをたたいて入れるとピニオン軸受部を破損し、油もれを起こし正常に機能しなくなります。

### 5 クローザ本体の取付

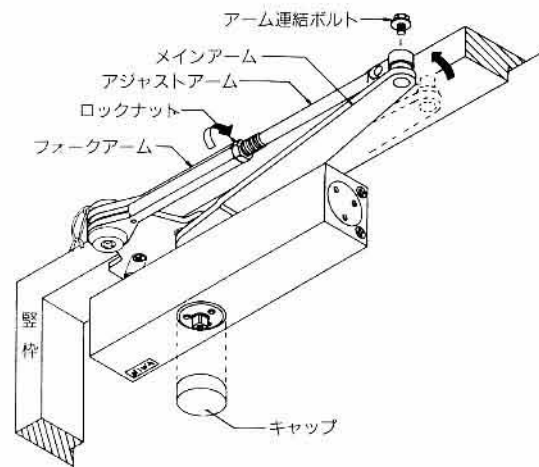
- 本体を本体ブラケットにはめ合わせて、本体を吊元側に向かって扉面にそってスライドさせて下さい。
  - 本体固定ネジ（2本）にて本体を本体ブラケットに固定して下さい。
- 左図は本体の裏面から見ておりますので向きにご注意下さい。



### 6 アームの連結

- アジャストアームとメインアームを仮連結して下さい。ニッカナ製の50シリーズから交換する場合は、アジャストアームを8回転させて、フォークアームの長さを伸ばして下さい。

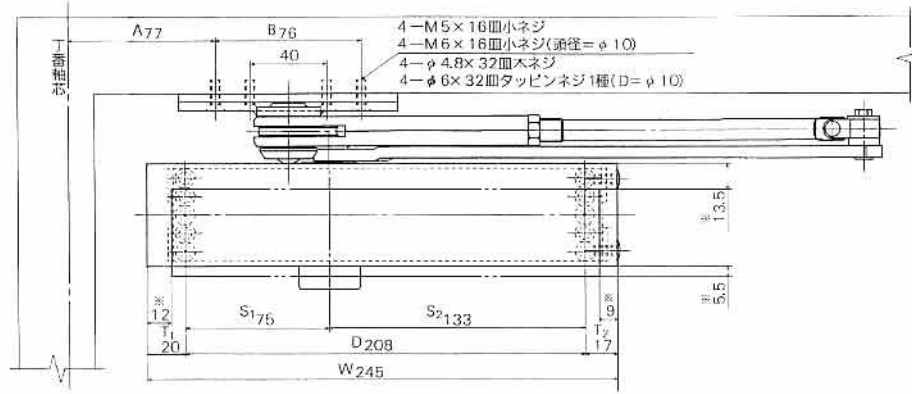
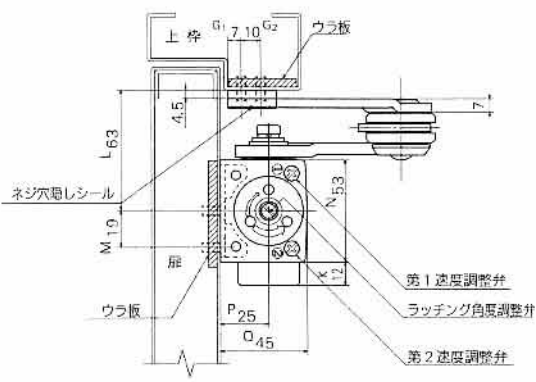
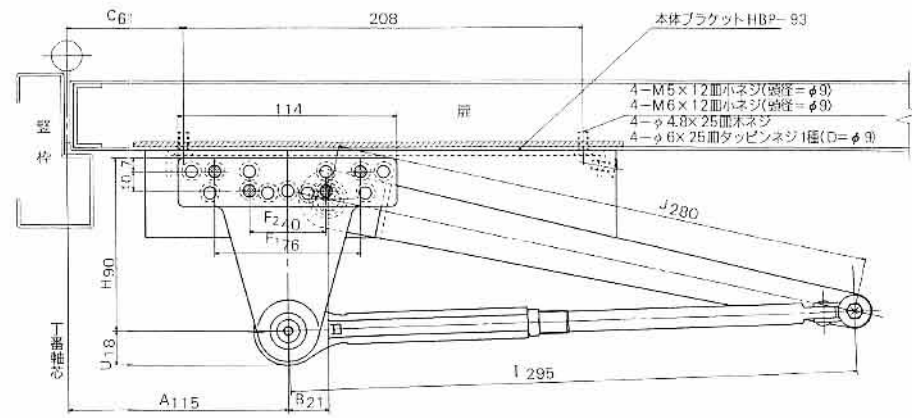
**注** フォークアームの長さ調整後ロックナットはしっかり締付けて下さい。



- アーム連結ボルトをしっかりと締付けて下さい。
- キャップは下からパチッとはめて下さい。

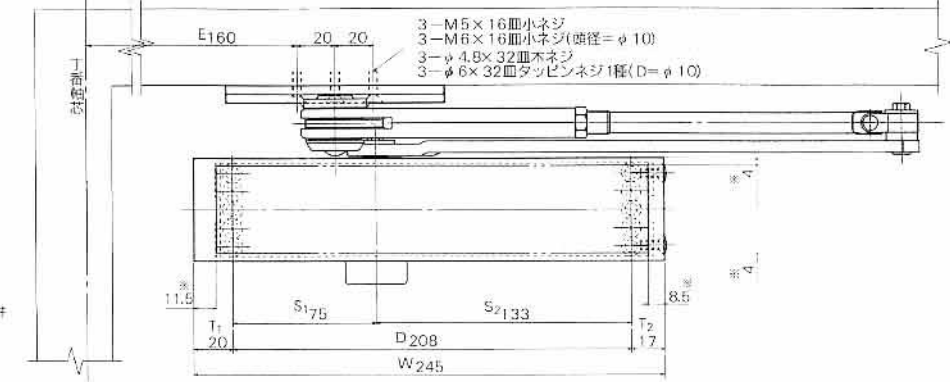
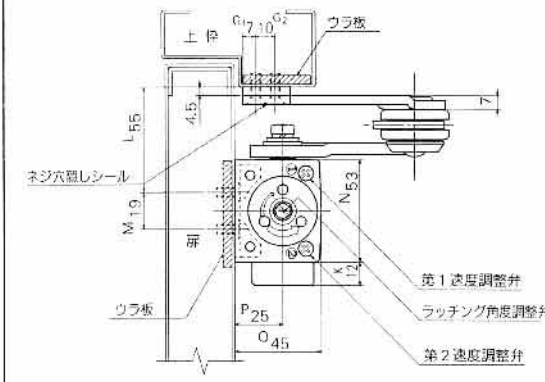
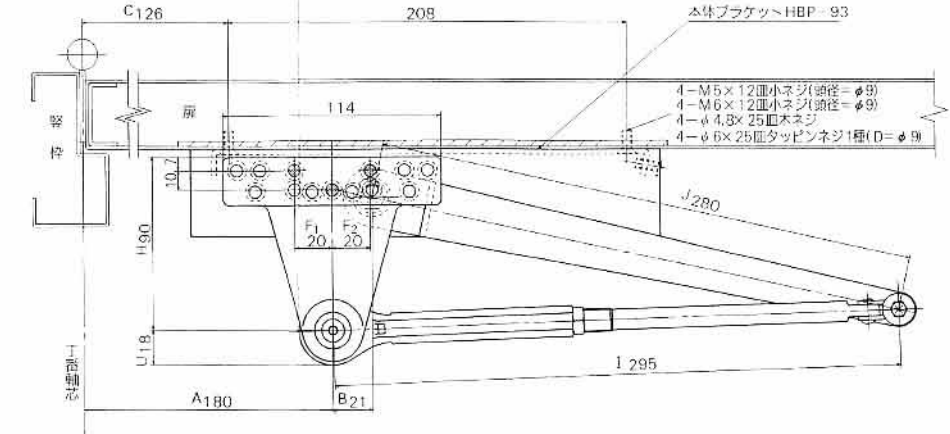
M603PS-LS1切込外観図 本図は、ニュースター80シリーズ切込への取付を示す。

- アルファベット記号は、電話等でお問い合わせの時、呼称して下さい。
- ※ は、ニュースターの本体位置寸法を示す。



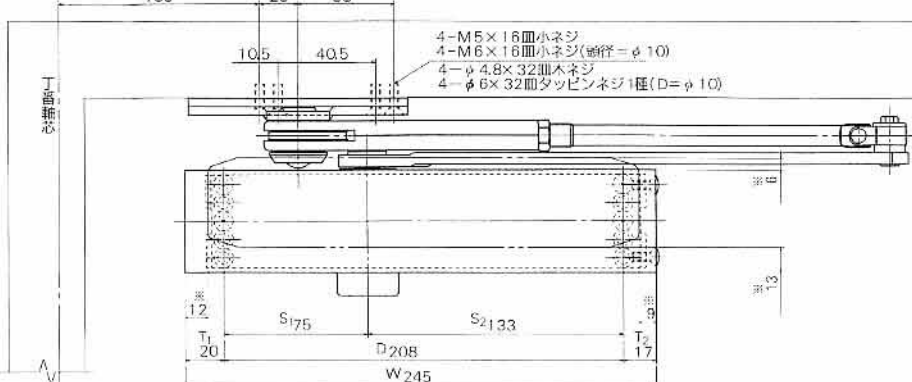
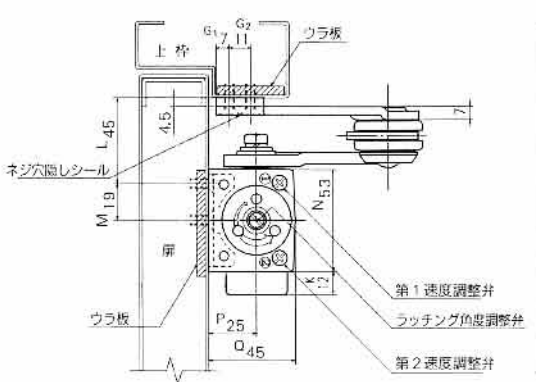
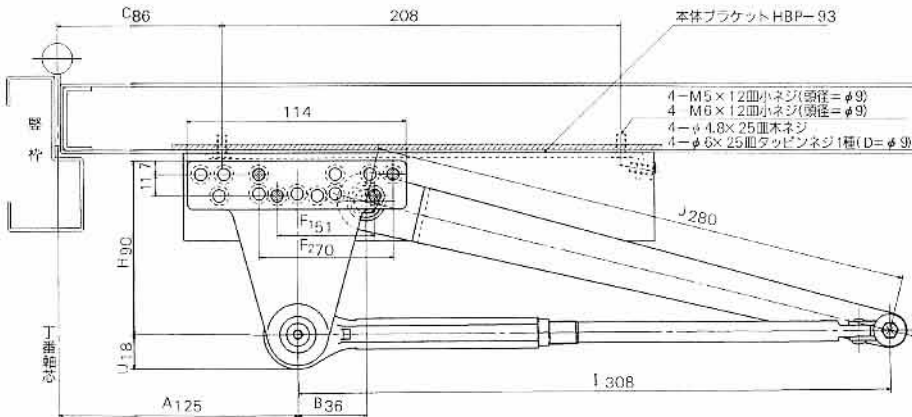
M603PS-LS1切込外観図 本図は、リヨービ60シリーズ切込への取付を示す。

- アルファベット記号は、電話等でお問い合わせの時、呼称して下さい。
- ※ は、リヨービの本体位置寸法を示す。



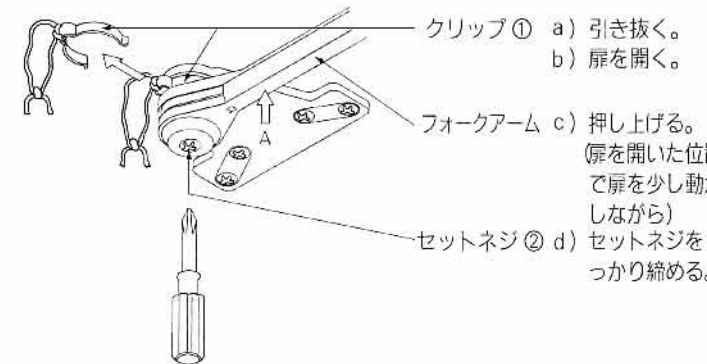
M603PS-LS1切込外観図 本図は、ニッカナ50シリーズ切込への取付を示す。

- アルファベット記号は、電話等でお問い合わせの時、呼称して下さい。
- ※ は、ニッカナの本体位置寸法を示す。



7 ストップ角度の決め方(ストップ装置付の場合)

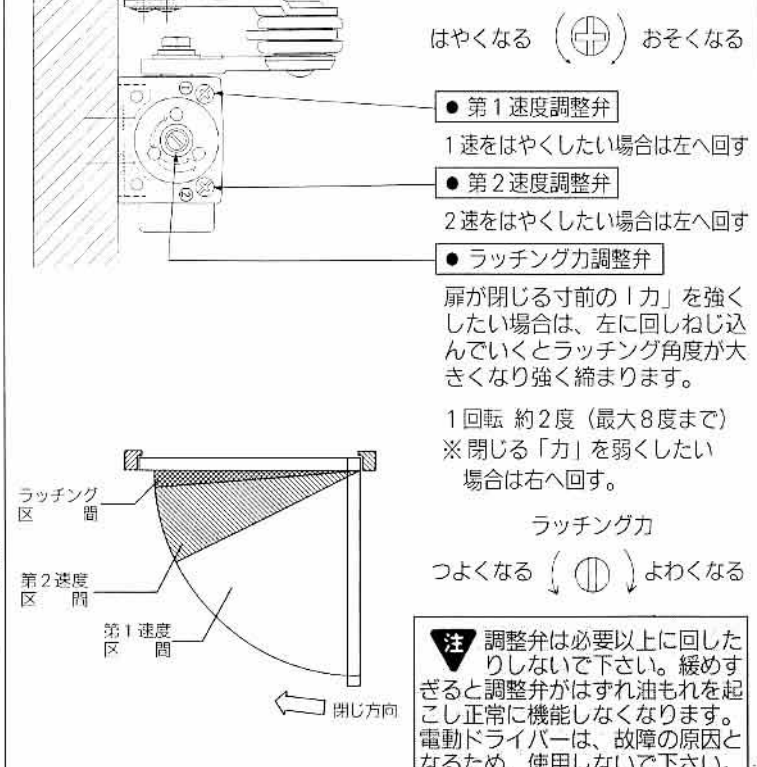
- クリップ①を引き抜いて下さい。
  - 扉をストップさせたい角度まで開いて下さい。
  - 開いた位置でフォークアームのA部分を押し上げて下さい。抜いたクリップの幅の分(約5mm)上がり、フォークアームがはまり込みます。(扉から手をはなしても扉が戻らない状態となります。)この時、扉をその位置で、前後に5°ぐらい振りながらフォークアームを押し上げると、簡単にセットできます。
  - セットネジ②をしっかり締め付けて完了です。
- ※1. ストップ角度は8~9度間隔で設定できます。(0~90度間)  
 ※2. 尚、再度ストップ角度を変える場合は、  
 1) 扉を開きストップさせておいて下さい。  
 2) セットネジ②をいっばいにゆるめて下さい。  
 3) フォークアームA部分を、いっばい引き下げるとストップ装置は解除されます。  
 4) その後は、ストップ角度の決め方の手順 b, c, d) によって決めて下さい。  
 ※3. セットネジ②は、外れ止めを付けてありますので、いっばいにゆるむとかたくなりますが、必要以上に無理に緩めないで下さい。  
 ※4. 引き抜いたクリップは不要です。



8 速度調整の方法

このドアクローザは工場出荷段階で速度調整がされていますので、通常は調整が不要です。もし調整が必要な場合は、次の要領で行なって下さい。

- 調整弁は3つあります。1速弁と2速弁で全体の閉じる速度を調整します。下図のように、調整弁を左に回せば閉扉スピードははやく、逆に右に回せばおそくなります。



⚠ 調整弁は必要以上に回したりしないで下さい。緩めすぎると調整弁がはずれ油もれを起こし正常に機能しなくなります。電動ドライバーは、故障の原因となるため、使用しないで下さい。